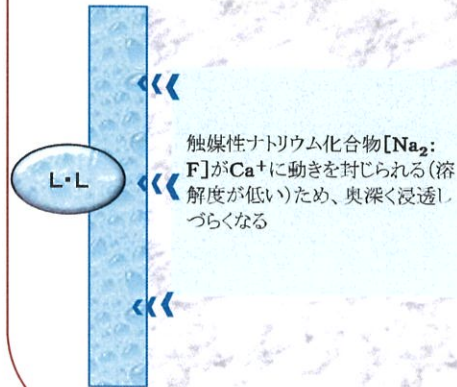
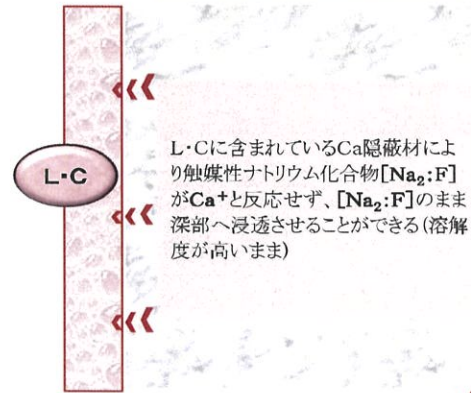


1. リバコン・コンディショナー (L・C)

L・C を塗布しない状態



L・C を塗布した状態



1. リバコン・コンディショナーの役割

リバコン・リキッド(触媒性化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$)を直接躯体に塗布すると触媒性化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$ とコンクリート内のカルシウムが反応し触媒性カルシウム塩 $[\text{Ca}_2:\text{F}]$ を形成する。触媒性化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$ の溶解度は高いが、触媒性カルシウム塩 $[\text{Ca}_2:\text{F}]$ はその溶解度が低いため、躯体奥深く浸透させることが出来ない。そこで、リバコン・コンディショナー(Ca隠蔽材)をリキッドより先に塗布することにより、溶解度の高い触媒性化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$ をそのままの状態でも浸透させ、その後カルシウムと反応させて触媒性カルシウム塩 $[\text{Ca}_2:\text{F}]$ を形成する。

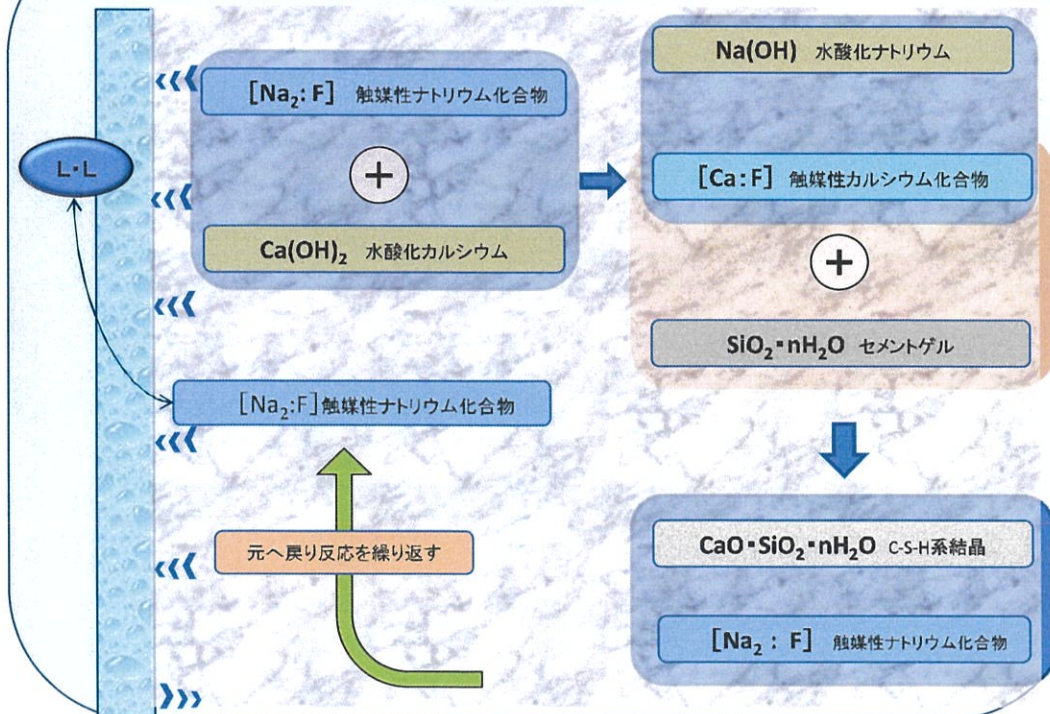
2. リバコン・リキッドの反応形態

- ①触媒性ナトリウム化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$ が躯体中の水酸化カルシウムと一次反応し、触媒性カルシウム化合物 $[\text{Ca}:\text{F}]$ と水酸化ナトリウムを形成する。
- ②触媒性カルシウム化合物 $[\text{Ca}:\text{F}]$ は、セメントゲル(シリカ化合物 $[\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}]$)と二次反応し、ケイ酸カルシウム水和物(C-S-H系セメント結晶 $[\text{CaO} \cdot \text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}]$)と触媒性ナトリウム化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$ を形成する。
- ③触媒性ナトリウム化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$ は、リキッド成分と同様であるので①、②の反応を繰り返し、躯体中にセメント結晶を形成しコンクリート内部を緻密化していく。

3. リバコン・エイドの反応形態

- ①リバコン・エイド中には触媒性リチウム化合物 $[\text{Li}:\text{F}]$ が含まれており、コンクリート中の炭酸ナトリウムと反応し、炭酸リチウム $[\text{Li}_2\text{CO}_3]$ と触媒性ナトリウム化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$ を形成する。
- ②炭酸リチウム $[\text{Li}_2\text{CO}_3]$ はセメント結晶形成を促進し触媒性ナトリウム化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$ も形成するため、セメント結晶形成の触媒性ナトリウム化合物 $[\text{Na}_2:\text{F}]$ の濃度分布が高くなり、コンクリート内部のセメント結晶形成濃度を高める。

2. リバコン・リキッド (L・L)



3. リバコン・エイド (L・A)

